

E F P - S 2 V

取扱説明書

第1版
株式会社 慧星電子システム

Windows 98 SE、Me、2000、XPは、米国マイクロソフト社の登録商標です。
PC/ATは、米国IBM社の登録商標です。

第1版 2005年 6月 発行

Copyright© 2002-2005 株式会社 彗星電子システム

- 本装置は、ルネサスエレクトロニクス製フラッシュROM、EPROM、ワンタイムPROM内蔵のワンチップマイクロコンピュータ専用の書込装置です。他のデバイスへの書込みや、他の用途には使用できません。
- 本装置の保証期間はご購入後1年間です。この間に製造上の問題によって発生する不良は無償で修理を行います。販売店または、当社に連絡してください。
但し、ソケット、スイッチ等消耗品の不良は有償となります。また本装置により書込まれたMCUデバイスの不良及び、それにより発生する問題については保証できません。
- 本装置は開発ツールとして使用する事を目的に準備された製品です。量産に使用される場合は、事前にお客様自身で使用環境等を考慮し、信頼性を確認の上ご使用下さい。
- 国内の使用に際し、電気用品取締法及び、電磁波障害対策の適用を受けていません。
また本装置は、UL等の安全規格、IEC等の規格を取得しておりません。従って、日本国内から海外に持ち出される場合は、この点をご了承ください。
- このEFP-S2V取扱説明書に記載されている内容は、今後性能改良などの理由で将来予告なしに変更することがあります。なお記載内容の運用した結果に関しては、株式会社 彗星電子システムはその責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本説明書及びソフトウェアの内容についてのお問い合わせは、下記までお願い致します。なお、お問い合わせに際してはE-mail、FAXにて受け付けております。
FAXでお問合せいただく場合はEFP-S2V Product CD内に添付されている技術サポート連絡書にお問合せ内容を記入後、送付ください。

『お問い合わせ先』

〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見6丁目5番24号
株式会社 彗星電子システム
FAX (06)6913-4534
E-mail:support@suissei.co.jp
HP :http://www.suissei.co.jp/

目次

はじめに	4
1. 安全上の注意事項	5
2. システム構成	8
2. 1 システム構成	8
2. 2 EFP-S2V パネル名称	9
3. セットアップ方法	10
3. 1 EFP-S2Vのセットアップ	10
3. 2 WinEFP2の起動	10
4. 仕様	11
4. 1 一般仕様	11
4. 2 RS-232Cケーブル（別売品）の仕様	11
4. 3 外形寸法図	12

はじめに

この度は、EFP-S2Vをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。



本製品の内容は、添付の梱包内容確認表に記載していますのでご確認ください。製品につきましてお気づきの点がございましたら、当社または販売代理店までご連絡ください。

- ※1 本書では、EFP-S2V本体をEFP-S2Vと呼びます。
- ※2 本書では、EFP-S2V用コントロールソフトウェアをWinEFP2と呼びます。
- ※3 本書では、パラレルユニット及びシリアルユニットをMCUユニットと呼びます。

製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、2ページ目の1. 安全上の注意事項では注意、重要の順で注意事項を説明します。

製品をご使用になる前は、注意事項に記載している内容をよく理解してからお使いください。

注意、重要の意味について以下に説明します。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
重要	その他、本製品を使用されるに当たって重要な情報を示しています。

⚠ 注意

●MCUユニットの取り外し

MCUユニットの取り外し方法を図1. 2に示します。

- ①MCUユニット取り外しレバーを矢印の方向に押し下げてください。
- ②MCUユニットがEFP-S2Vから完全に外れていることを確認後、取り外してください。

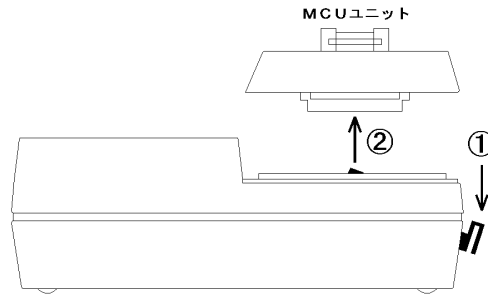


図1. 2 MCUユニットの取り外し

●EFP-S2V電源投入手順

EFP-S2VにEF1SRP-01US2等のシリアルユニットを取り付けてオンボード書込みを行う場合EFP-S2Vの電源をONした後に、ターゲット基板側の電源をONさせてください。

逆の手順で電源投入を行うとターゲット基板側の電源がEFP-S2V側に回り込み、EFP-S2V側の電源がONする場合があります。

また本現象は、EFP-S2Vおよびシリアルユニットのターゲットインターフェース回路を破壊するおそれがありますので、十分ご注意ください。

●DEVICE LED点灯中の注意

DEVICE LED(赤)が点灯している時はMCUユニットに電源が供給されています。

本状態時に以下の動作を行わないでください。

- ①MCUユニットの取り付けおよび取り外し。
- ②ICソケットの開閉、MCUの交換。

重要

●LEDによる起動時のエラー

EFP-S2V起動時にエラーが検出されると、LEDが以下のように点灯します。

EFP-S2Vを再起動しても症状が改善しない場合は、当社または販売代理店へお問合せください。

①システムチェックエラー

USB/SERIAL I/F(黄)、DEVICE(緑)のLEDが交互に点滅します。

②F/Wプログラム書込みエラー

DEVICE(緑)のLEDが点滅します。

③MCUユニットエラー

USB/SERIAL I/F(黄)、DEVICE(赤)のLEDが交互に点滅します。

※EFP-S2VにMCUユニットを接続しない状態で電源の投入を行った場合に本現象が発生します。EFP-S2VにMCUユニットを接続後、再起動してください。

重要

●USB I/Fからの電源供給

EFP-S2V本体はパーソナルコンピュータのUSB I/Fから電源を供給して動作させることが可能です。USB I/Fから電源を供給している場合、EFP-S2Vの最大出力電圧は3.3Vとなります。書込み用電源として5Vまたは、12Vの電源を必要とする品種を使用される場合は付属の電源アダプタより電源を供給してご使用ください。

[USB I/F電源供給不可品種]

4500、720シリーズ全般

38000シリーズNOR、New Dinor型フラッシュROM内蔵品種

M38039FFFP、M38869AHP 等

7700シリーズ全般

M16CシリーズNew Dinor型フラッシュROM内蔵品種

※今後の品種展開により不可品種が追加される場合があります。

※書込み動作時に必要な電源電圧については各MCUのデータブックをご参照ください。

2. システム構成

2.1 システム構成

EFP-S2Vを使用するためには以下の装置が必要です。

図2.1にEFP-S2Vのシステム構成図を示します。

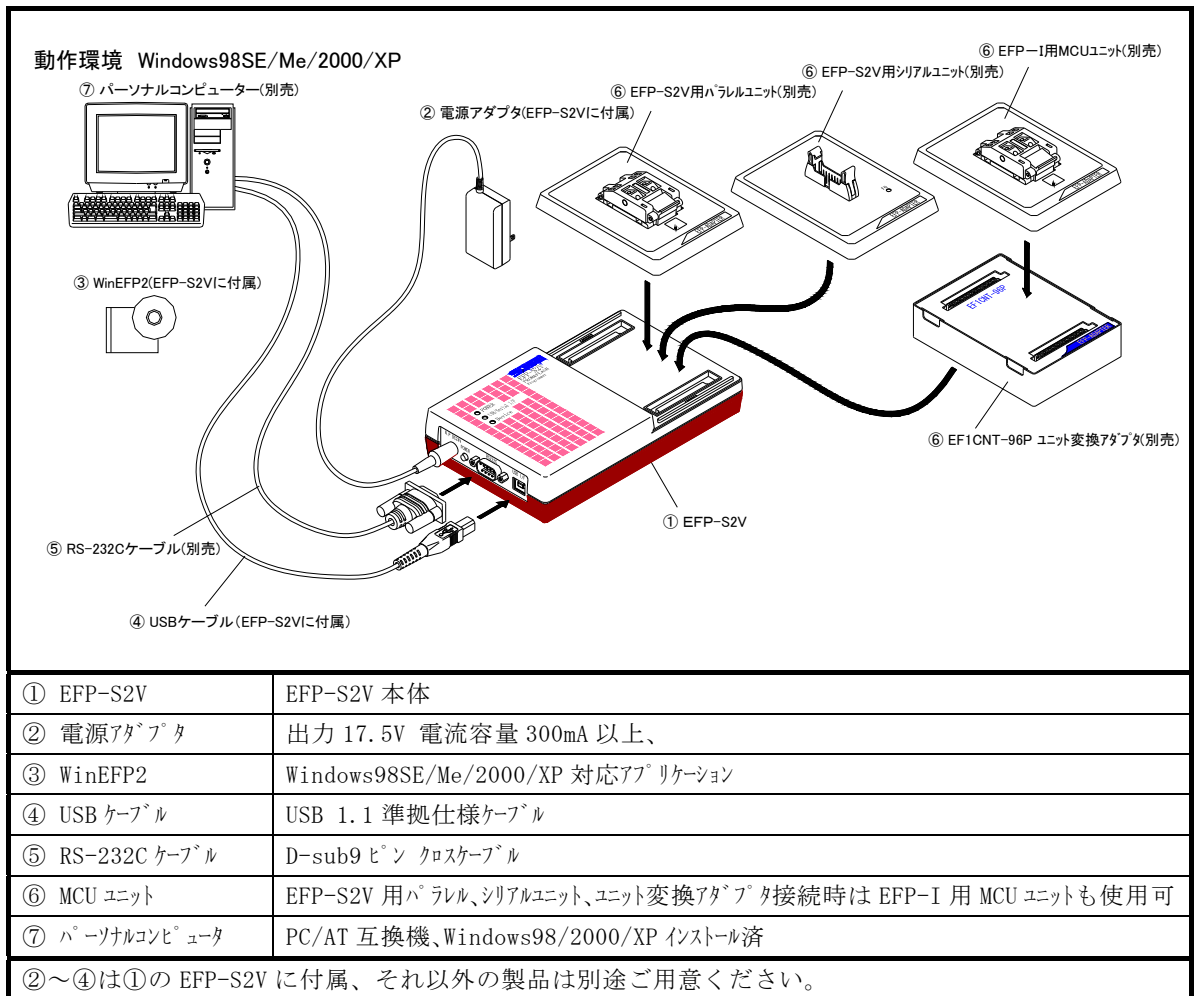


図2.1 EFP-S2Vシステム構成図

2.2 EFP-S2V パネル名称

図 2. 2 に EFP-S2V のパネル図を示します。

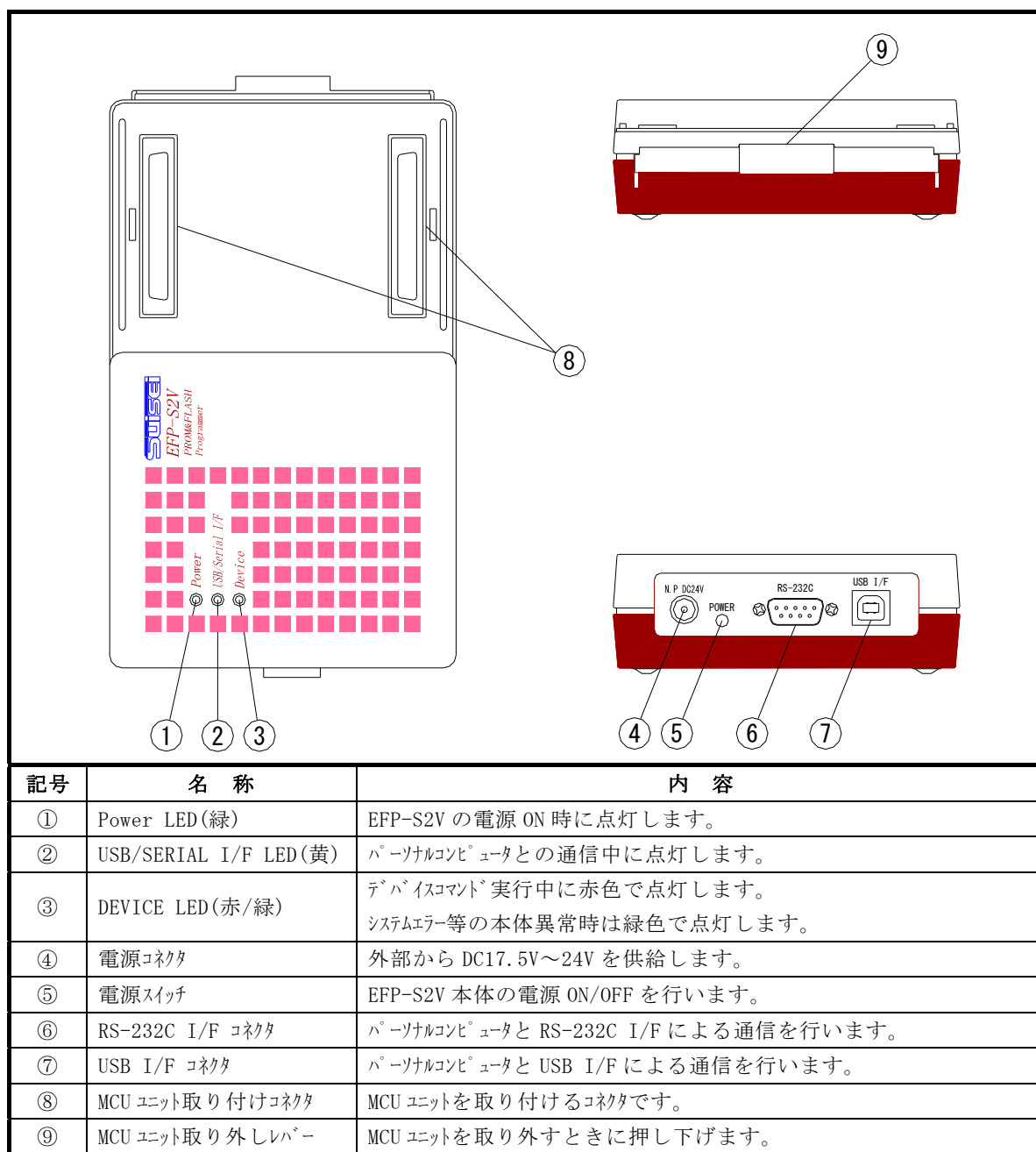


図 2. 2 EFP-S2V パネル図

3. セットアップ方法

3.1 EFP-S2Vのセットアップ

EFP-S2Vのセットアップ手順を以下に示します。

- ① EFP-S2Vへの電源供給はAC100Vを電源アダプタから供給する場合とパーソナルコンピュータのUSB I/Fより5Vを供給する方法があります。
MCU書込み等で、EFP-S2Vより5V以下の電圧を出力する場合は、USB I/Fからの電源供給のみで問題ありませんが、5.1V以上の出力電圧が必要な場合は、電源アダプタから電源を供給してください。
※書込み動作時に必要な電源電圧については各MCUのデータブックをご参照ください。
- ② RS-232Cケーブルまたは、USBケーブルをEFP-S2Vの [RS-232C]、または [USB I/F] コネクタに接続し、反対側はパーソナルコンピュータの各コネクタに接続してください。
- ③ EFP-S2VにMCUユニットを取り付けます。ユニットを取り付ける場合は、向きに注意してください。
※注意 ●MCUユニットの取り付けをご参考ください。
- ④ EFP-S2Vに電源を投入します。電源スイッチを押すとLEDが以下の動作を行います。

EFP-S2V起動処理

POWER (緑色)、USB/SERIAL I/F (黄色)、DEVICE (赤色) のLEDが点灯します。システムチェック (約2秒) 後にUSB/SERIAL I/F、DEVICEのLEDが消灯し、EFP-S2Vはコマンド待ち状態になります。

3.2 WinEFP2の起動

EFP-S2Vがコマンド待ち状態であることを確認後、WinEFP2.EXEを起動します。
WinEFP2の操作説明については、**WinEFP2 取扱説明書**をご参照ください。

※EFP-S2Vを使用する前にアプリケーションのインストールおよび、USBドライバのインストールを行ってください。各ソフトウェアのインストール方法は製品に付属されている**WinEFP2 インストール手順書**をご参照ください。

4. 仕様

4.1 一般仕様

表4.1にEFP-S2Vの仕様一覧を示します。

表4.1 EFP-S2V仕様一覧

書込方式	ルネサスエレクトロニクス製MCUパラレルおよびシリアル入出力モード	
書込対象	ルネサスエレクトロニクス製フラッシュメモリおよびワンタイムPROM内蔵MCU	
メモリ	RAM	2Mバイト SRAM、ユーザープログラムバッファ用
	ROM	256Kバイト フラッシュメモリ、F/Wプログラム格納用
通信インターフェース	USB 1.1	最大転送速度12Mbps
	RS-232C	9600bps～115200bpsまでの速度設定が可能。
制御方法	WinEFP2からの制御	
表示	EFP-S2V本体の実行状態をLEDで簡易表示	
電源入力	USB 1.1	DC5V 最大500mAをパーソナルコンピュータから供給可能
	DC電源	DC17.5V～24V 300mA以上
外形寸法	110(W)×180(D)×36(H)[mm](突起物は除く)	
重量	約600g	
周辺環境	動作温度 0～40℃、動作湿度 80%以下(結露なきこと。)	

4.2 RS-232Cケーブル(別売品)の仕様

図4.1にRS-232Cケーブルの結線図を示します。

市販品のケーブルで結線状態が同様であれば流用可能です。

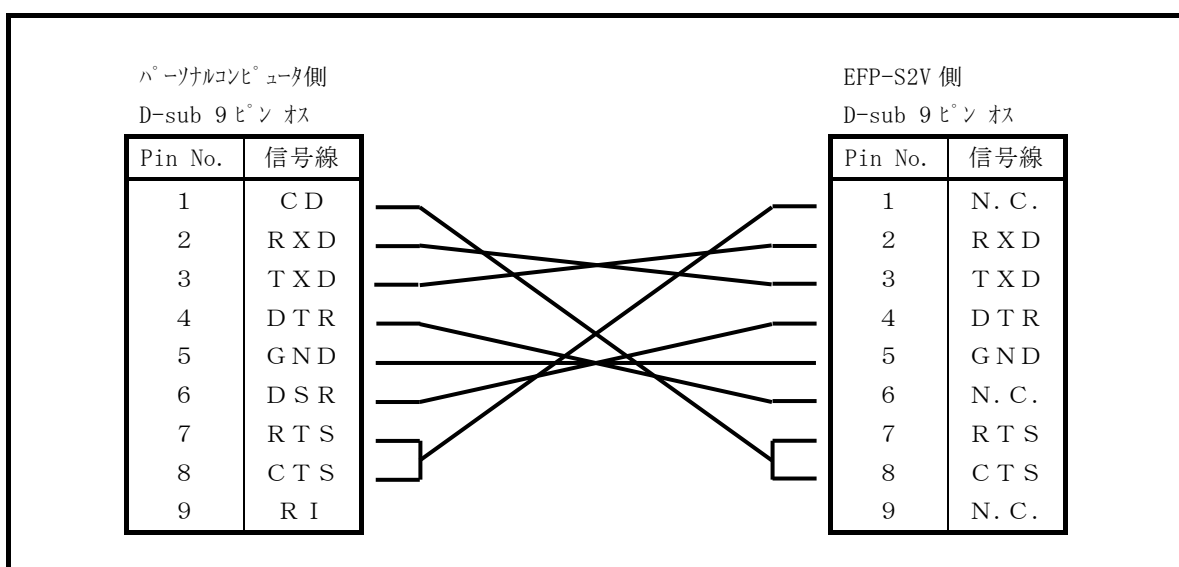


図4.1 RS-232Cケーブル結線図

4.3 外形寸法図

図4.2にEFP-S2Vの外形寸法図を示します。

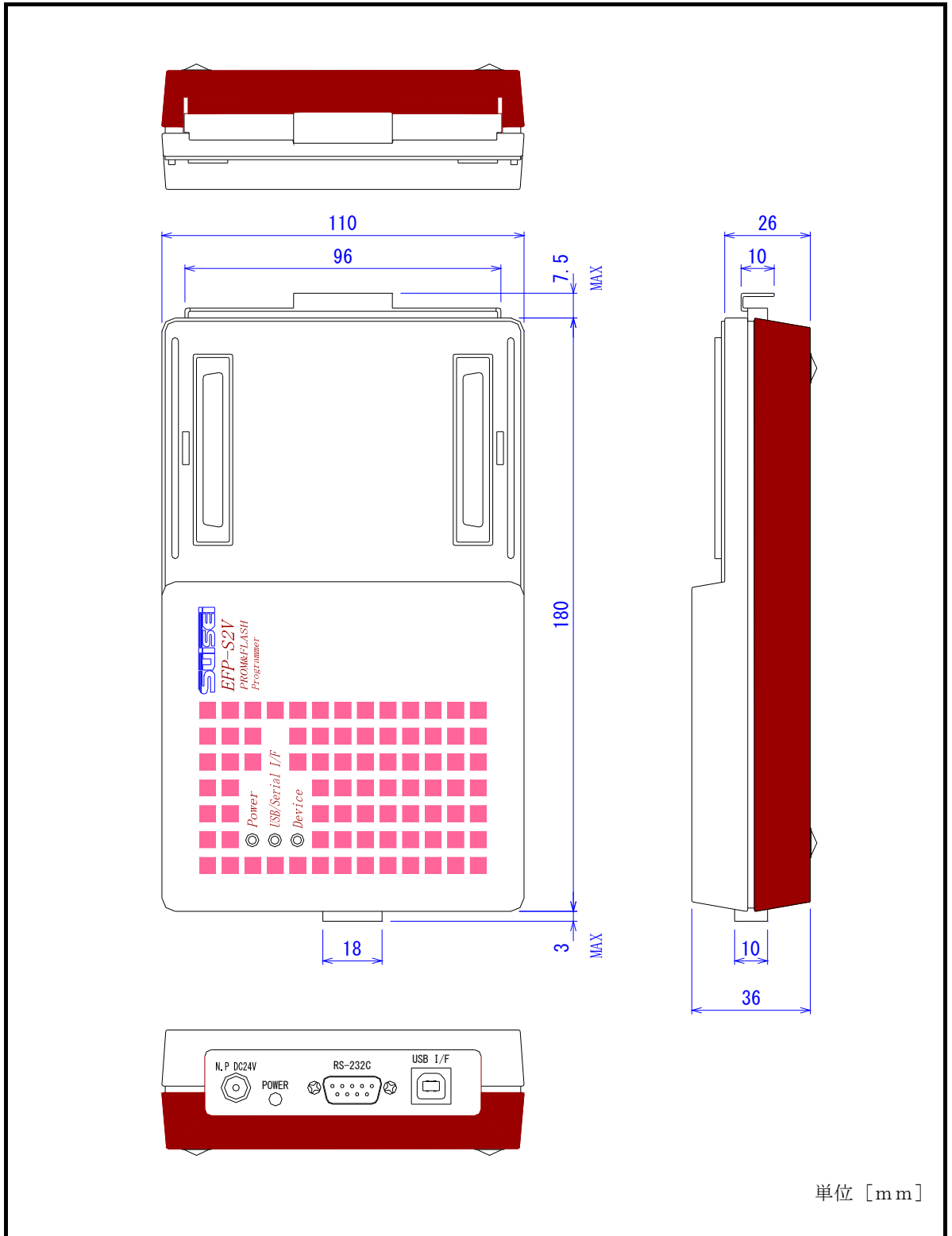


図4.2 外形寸法図